



# 早慶戦 行こう!!

塾生の皆さん、いよいよ大学スポーツの華、早慶戦がスタートします。ぜひ、みんなで応援に行きましょう。勇壮な応援や華麗なチアリーディングのもと、応援席に陣取って大声で選手を励まし、肩を組んで応援歌を歌っていると、その特別な一体感に、塾生になった確かな手応えを感じることができます。体育会の各部にとって、早慶戦は母校の名誉を背負う特別な試合で、選手たちは全力で戦います。体育会には多くの部がありますが、まずは野球、レガッタ、アメリカンフットボール、ラクロスなど、近々開催される早慶戦に GO !



# 早慶戦の花形——東京六大学野球早慶戦

東京六大学野球公式戦の中でも早慶戦は特別な試合。必ず春秋シーズンの最終戦として生まれ、多くの場合、その勝敗がシーズン優勝に大きく関わる。義塾が2014年春季優勝を決めたのも早慶戦であり、昨年の春秋シーズンも優勝決定は早慶戦までもつれこんでいる。



野球早慶戦の歴史は古い。早稲田大学野球部が義塾野球部に挑戦状を送り、それを受けて1903年11月21日に第1回早慶戦が行われた。以来、中断期間があったものの、復活。1943年には「最後の早慶戦」として知られる出陣学徒壮行早慶戦が行われるなど、現在まで110年以上にわたり熱戦が繰り広げられている。



神宮球場のスタンドは実に華やか。応援席には幼稚舎生、横浜初等部生をはじめ多くの塾生から、塾員、教職員までが一堂に会して応援指導部のリードのもと、楽しく、にぎやかな応援が続く。「若き血」「ダッシュケイオウ」などの応援歌、カレッジソングを共に歌えば、新入生もすっかり義塾の一員。試合前後にはエール交換やセレモニーも行われる。ぜひとも自分の目と耳で早慶戦をライブ体験してもらいたい。

## 昨年の雪辱を果たす



野球部 主将  
環境情報学部4年  
重田清一君  
しげなせいいち

昨年は春秋とも、目の前で早稲田の胸上げを見ることになりました。野球部全員がその悔しさをかみしめながら、練習に取り組んでいます。今年の春の早慶戦は、プレー以前に、気持ちでも絶対に負けられない試合です。1点を入れるために、ワンアウトをとるために、部員全員が死に物狂いで戦う覚悟です。

僕自身は早慶戦に憧れて佐賀の高校から義塾に入学。ボールボーイだった1年生の時、グラウンドから見上げた観客席の華やかさは、想像以上でした。試合に出たのは3年から。大観衆のもとでバッテリーボックスに立ち、「ダッシュケイオウ」の応援では、自分の名前が連呼されるのを聞き、気合が入りました。

今年は、昨年から残る早稲田の投手をどう打ち込むかがポイント。義塾のプライドを胸に、勝利への執念を燃やし、日々1000回超えのスイング練習で鍛えた部員の活躍をぜひ見てください。優勝後の祝賀パレードを目指して、力いっぱい戦います。

5/28(土)  
29(日)

明治神宮野球場にて

## 応援指導部

### リーダー部

初谷遼太君  
はつがいらりょうた  
 商学部4年



応援指導部リーダー部の役割は観客席前のパフォーマンスで全体を統率することだけではありません。特に野球の早慶戦は、他校との試合と異なり特別に運営が両大学の学生に任されているため、宮球場の担当者との打ち合わせから始まり、当日は観客の誘導もします。試合ごとにテーマを決め、ゲストを招くなど、準備にも時間をかけて観客動員に力を入れています。そしてなにより重要なのは、皆さんに早慶戦観戦を楽しみ、素晴らしい体験してもらうこと。部員たちは客席に入り込み、笑顔で声をかけ、ユーモアを交えて、観戦を楽しむサポートをします。新入生も安心して応援に来てください。



### 吹奏楽団

白石太一君  
しらいたいち  
 商学部4年



応援歌やチャンスパターンを演奏し、応援を音楽で盛り上げるのが総勢約70名の吹奏楽団です。スタンドではあまり目立ちませんが、演奏中は立ったり座ったり、楽器を立てたり回したり、皆さんが少しでもノリよく、楽しく応援できるように工夫をしています。観戦の際は、吹奏楽団にも注目してみてください。早慶戦の華やかな雰囲気を作り一層味わえると思います。野球で優勝したら、楽器を演奏しながら、パレードを先導します。また早慶戦を経験していない人は、ぜひ一度は足を運んでみてください。早慶戦は、塾生も塾員も年齢や立場を超えてひとつになれる場です。皆で一体感を楽しみましょう！



### チアリーディング部

木村円香君  
きむらまじか  
 法学部4年



チアリーディング部は約50名。さまざまな種類のダンスを交え、生き生きとした動きで応援の場を華やかに彩ります。試合に勝つのが一番ですが、勝敗にかかわらず、観戦が楽しかったと思ってもらえるようにしっかりと練習し、見応えのあるパフォーマンスをお見せします。試合前の時間も見せ場のひとつです。また、サッカーやラグビー、アメリカンフットボールのハーフタイムショーも私たちの活躍場所。野球だけでなくいろいろな早慶戦にもぜひ応援に来てください。早稲田のチアとは仲が良いけれど、パフォーマンスでは絶対義塾が勝つ、という気持ちで日々活動しています。

♪若き血に燃ゆる者、光輝みてる我等……「若き血」がこだまする神宮球場の応援席。義塾が一体となるこの熱い連帯感をつくるために、応援指導部や慶早戦支援委員会など、早慶戦を支える学生たちの活動がある。

## 慶早戦支援委員会・三田祭実行委員会

野球早慶戦は義塾の一大イベント。表舞台の選手たちを支えるため、応援指導部の他に、緑の下の力持ち的な役割を担う団体がある。そのひとつが慶早戦支援委員会だ。試合の2週間前からキャンパス内で早慶戦の応援席券を販売し、ピラの配布や拡声器を使つての学内広報を行う。さらに野球部の選手にインタビューし、早慶戦への取り組みや意気込みをSNSなどで発信する。そして試合当日は、応援指導部と協力して観戦に来た人

の誘導や応援席の安全確保のための警備を行う。また、東京六大学野球リーグ戦で優勝するとパレードが実施され、神宮球場から三田キャンパスまで選手や関係者が行進するが、その準備を担当しているのも同委員会だ。



盛り上がりがあると、うれしく思います。パレードの際の高揚感も忘れられません」(松岡蒼大君)

「警備中は、試合をほとんど見られませんが、裏方として間違いなく役に立っているという感覚は悪くありません」(中野寛才君)

優勝時の三田での祝賀会は、三田祭実行委員会が企画し取り仕切る。優勝の気配がみえたら準備に入るが、綿密に計画しても試合で敗れて、あと一歩優勝に届かず祝賀会が流れることもある。

「秋に優勝した場合は、三田祭と祝賀会の準備を並行して行います。忙しいけれど、塾生であることを強く感じられる、充実した日々です」(横野剛君)

「2014年春は三田の中庭にあふれんばかりの人数が集まり、優勝を喜び合いました。今年はぜひ再現したいものです」(藤野仁也君)



前列右から  
慶早戦支援委員会  
経済学部4年(取材時)  
上原丈弥君  
文学部4年  
なかのかんさい  
中野寛才君  
商学部4年(取材時)  
まつおかそうた  
松岡蒼大君  
後列右から  
三田祭実行委員会  
経済学部4年(取材時)  
よしの  
横野剛君  
経済学部4年  
ふじのじんや  
藤野仁也君

メンバーは、伝統ある早慶戦に関わる活動に誇りを持っている。

「野球部員、応援指導部員と身近に接し、その熱い思いを受け止めながら、一緒に早慶戦を盛り上げようという気持ちが強くなります」(上原丈弥君)

「応援指導部の人たちが応援指導に集中できる環境を整えることも私たちの大切な役割です。観客が楽しく



# 野球だけではなく早慶戦

野球部以外にも、体育会のさまざまな部で早慶戦が行われている。ここでは4〜5月にかけて早慶戦を行う部の中から3部を取り上げ、各部主将へのインタビューとともに紹介する。

## 端艇部 Rowing

端艇部・ボート部門での早慶戦が早慶レガッタ。1905年から行われ、次回が第85回となる歴史ある早慶戦である。新年度に入り最初に行われる早慶戦でもあり、春の隅田川の風物詩となっている。川沿いで観戦には入場料もいらないため気軽に参加できる。ゴール地点の桜橋は人であふれ、ゴールの瞬間は盛り上がる。当日は、朝から中学生やOB、教職員などにやるレースが行われるが、午後3時半頃の対校エイトがメインレース。現在、義塾は対校エイトで4連勝中だ。

「勝利したとはいえ、昨年の対校エイトの結果は、早稲田がコース外進行したための失格によるもの。今年は実力で早稲田を凌駕し、完全勝利による5連覇を目指します。早稲田も相当の闘志を燃やしてくるはずですから、プライドがぶつかる好勝負になると思います」



主将  
経済学部4年  
なかだこうたろう  
中田幸太郎君

4/17日  
隅田川にて

## アメリカン フットボール部 American football

ヘルメットをかぶり、大きな肩パッド入りの防具で身を固め、自身を武器のごとくに使い球を奪い合うアメリカンフットボール。実際の試合を見る機会は少ないが、駒沢陸上競技場で行われる早慶戦は初観戦に格好の試合。観客が多く、華やかなチャアリーダーの試合の応援もあり、競技場全体が熱気に包まれる。

「昨年は義塾の勝ち、しかし昨年は負け。一昨年は早稲田は絶対調で、関東秋季リーグで優勝し、学生日本一を決める甲子園ボウルにも出場。今年の早慶戦でその早稲田に勝つことで、秋のリーグ戦に向けて弾みをつけた。義塾の伝統はクレバーな試合運びですが、今年はそれだけでなく闘志を前面に出した『熱く、ひたむきに、泥臭く戦う』チームをつくって、学生日本一を勝ちとります。ぜひ駒沢に応援に来てください」



主将  
総合政策学部4年  
りたく  
李卓君

4/29金・祝  
駒沢陸上競技場にて



## ラクロス部(女子) Lacrosse

ラクロスの魅力は走り抜くスピードと、クロス先端部のメッシュを張ったヘッドからボールを投げて受ける華麗なパス回し。例年、日吉キャンパス陸上競技場で開催されるラクロス部男子・女子の早慶戦は、多くの塾生、塾員を集める人気イベントである。

「まずは迫力ある試合を見てください。ここで初めてラクロスを観戦し、入部を希望する部員もたくさんいます。早慶戦は今年で24回目。そしてラクロス部女子は、現在9連勝中。今年も絶対に勝って10連覇を達成します」

義塾は日本で最初にラクロス部を創設した大学であり、ラクロス部女子がチームスピリットに掲げるのは、Pioneer's Pride\*。先駆者の使命として、ラクロスの普及にも取り組んでいる。2012年には全日本選手権で優勝するなど、日本屈指の強さを誇り、今年の目標はもちろん日本一。



主将  
渡邊 ひとかり 君  
法学部4年  
わたなべ

5/15日  
日吉キャンパス  
陸上競技場にて

### ぞくぞく開催! 早慶戦日程紹介 — 2016年度春学期早慶戦開催日程

部名	日程	場所
▶ 準硬式野球部	4月23日(土)・24日(日)	[4月23日] 府中市民球場 [4月24日] 早稲田大学東伏見グラウンド
▶ スケート部〔部門: ホッケー〕	5月7日(土)	東伏見グランドロンドコアイスアリーナ
▶ 庭球部(テニス)一男子・女子	5月14日(土)・15日(日)	日吉キャンパス・蝮谷テニスコート
▶ 卓球部一男子・女子	6月19日(日)(予定)	早稲田大学卓球場(予定)
▶ バスケットボール部一男子・女子	6月25日(土)	代々木第二体育館
▶ 水泳部〔部門: 競泳・水球〕	7月3日(日)	東京辰巳国際水泳場
▶ ヨット部	9月10日(土)・11日(日)	葉山沖

※2016年2月現在、日程が決定している部を抜粋して掲載しています。

「陸の王者、慶應」と「都の西北、早稲田」は、学業とともにスポーツにおいても日本を代表する大学。その対校試合「早慶戦」は、さまざまな競技でも伝統とプライドをかけて戦われ、同時に互いに友情を育んでいる。この特集で伝えきれなかった各部の早慶戦も、上記の日程で開催予定。また、秋には蹴球部(ラグビー)の早慶戦や、冬には早慶アイスホッケー定期戦もあり、多くの塾生・塾員が応援に集まる。日時等の詳細は、体育会(<http://www.uaa.keio.ac.jp/>)または、各部のWebサイトで確認して、みんなで応援に行こう。